

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等サービス キッズ木馬 清水校			
○保護者評価実施期間	令和6年 3月 1日		～	令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○従業員評価実施期間	令和6年 3月 1日		～	令和7年 2月 28日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所・幼稚園などと連携して、保育士による日常生活・療育活動を行うことが出来ている。	保育所や相談員支援員と連携し、情報共有や対応が出来るよう工夫している。	対応方法等を振り返り、よりよい方法や考え方がないかを話し合い、繋げていく。
2	トイレットトレーニングを家庭や保育園等で連携し、同じ支援をすることでスムーズに行えている。	関係機関との情報を共有することで、児童の自立を促せるように工夫している。	特定の職員だけで対応せず、職員全体で対応が出来るようにスキルを上げていく。
3			

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	視覚的支援が必要な児童に対しての支援が不十分。	視覚支援を行う教材や、職員が活用方法を理解できていなかった。	外部や内部研修に積極的に参加し、職員のスキルを向上させていく。 教材や必要な物を定期的に見直す。
2	児童発達に合わせた活動の道具が不十分。 むことができない。	色々な活動内容を検討する必要があった。	職員が意見を出し合い、多くの支援方法を提供できるように工夫していく。
3	児童発達に合わせた活動の道具が不十分。	児童の年齢や状況に合わせたものを検討できていなかった。	児童にあったものを提供できているか確認し不足しているものは、素早く提供出来るようにしていく。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援 キッズ木馬 清水校
------	------------------

公表日 年 月 日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用定員 10名 事業所使用面積 93㎡	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童指導員加算を満たす 1日6～7名配置	
3	生活空間は、こどちにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	玄関前に段差あり、フロア内はバリアフリー。構造化された環境になっている。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		開所前と開所後に毎日清掃している。子どもの体格に合わせた椅子や机のサイズを複数準備している。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	毎日のミーティングと支障メモ、記録を活用し、振り返りと支援目標の設定を行っている。	個室はないが、事業所内にプレイマットを敷いており、必要に応じて敷くことができる。
6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		年一回、アンケートを実施している。	
7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日のミーティングや毎月の全体ミーティング等時に意見を出し合ったり、必要に応じてその都度対応している。	
8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			実施できていない、今後、検討していく。
9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	社内研修会を行うとどちに、社外の研修などにも積極的に参加している。	
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		なされている。	
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		契約時1回、その後半年ごとに年2回のアセスメントを行い、それに沿った計画がなされている。	
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		インフォーマルアセスメントをミーティング等で意見を出し合い共有し、その結果を計画に反映している。	
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの障害の利益を考慮した検討が行われているか。	○		立てられた計画は必ず職員間で共有し、計画に沿った支援を行っている。	
14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察など含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		ミーティング等を通じて、子どもの状況をフォーマルアセスメント、インフォーマルアセスメントを使用し確認している。	
16	児童発達支援計画には、児童発達支援カイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		カイドラインに沿った計画を立案し、具体的な支援内容が設定されている。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		チームで行っている。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		固定化防止の工夫を行うと共に、季節や天候、感染症対策に合わせたアレンジを含め、楽しく取り組めるようにしている。	

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		子ども達一人一人の状況や体調を考慮しながら、二入スに合わせた内容で支援を行っている。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		日々の打ち合わせを行い、事前連絡、支援上の注意、引き継ぎ事項、職員の支援の動きなどを確認してから支援を行っている。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	進捗順の返却を含め、送り迎えが早く、終了後の会議に全員参加は難しいが、支援メモや職員間連絡にて報告、確認を行っている。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の記録や連絡帳などの活用で子どもの変化や様子等気付いた事をそれぞれ記入している。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリング、半年に1回は必ず計画の見直しを行っている。	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者または管理者が出席し、必要に応じて保育士、児童指導員、理学療法士なども参加している。	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて情報共有、相互理解を図り、よりよい支援につなげられるように努めております。	
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルーシブ推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		相談支援を中心としインクルーシブ推進の観点から支援を行っているが、また、よりよい支援を提供できるように、情報共有と相互理解を図っております。	
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		電話や書面、学校への訪問などで、情報共有と相互理解を図っている。	
28	(28～30は、センターのみ回答)	-	-	-	-
29	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	-	-	-	-
30	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	-	-	-	-
31	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	-	-	-	-
32	(31は、事業所のみ回答)	-	-	-	-
33	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイスや助言等を受ける機会を設けているか。	○		必要に応じて児童発達支援管理責任者または管理者が連携を図り、研修に積極的に参加している。	
34	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		一人一人にとって交流目的が違いため、今後も交流する予定なし。	
35	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時、連絡帳、でんぶ、SNS、連絡などを使い分けて情報の様子や課題、今後の目標などについて報告したり情報を共有したりしている。	
36	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		現在行っていないが、今後は取り入れていきたい。	
37	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約時に重要事項説明書を用いて説明している。	
38	児童発達支援計画の作成前にモニタリングを実施し、定期的な保護者等との面談により、利用児童の状況や課題を確認し支援計画に反映している。	○		児童発達支援計画の同意をいただく際には、丁寧かつわかりやすい言葉で説明するように、心がけている。	
39	定期的な、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		連絡帳でのやりとりや、電話、送迎時、面談を行い、子育ての悩みや疑問・ご相談に適切な回答、助言などの支援に努めている。	

関係機関や保護者との連携

保護者への説明等					個人情報の取扱いから、保護者様のご意向に沿って慎重かつ十分な配慮の上、検討してまいります。
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	個人情報の開示もあり、保護者様の集まる機会が実現できていません。	
40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		日々の利用に関するご意見やご相談については、迅速に対応できるように配慮しております。苦情への相談窓口も設けており、契約時にご説明しております。	
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月利用予定表にて活動の概要や行事予定を掲載しております。また、SNSなどで活動の様子をお伝えしています。	
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いには慎重に行い、書類は施錠の出来る場所に保管しております。また、児童の写真掲載等は、保護者様の同意を得たうえで掲載しております。	
43	陣書のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		一人ひとりの特性に応じて、口頭だけでなく、絵カードや画面を指示するなどの手段を活用して、情報伝達に配慮しております。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	げんじでんでは、地域の方をご招待するなどの交流は積極的に企画するまでに至っております。	個人情報の取扱いから、保護者様のご意向に沿って慎重かつ十分な配慮の上、検討してまいります。
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを策定するとともに事業所内に掲示し、定期的な訓練も実施しております。	
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定し、定期的に地震や火災、風水害を想定した訓練を実施しております。	
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	○		契約時に必ず確認を行い、緊急時には、全職員が適切に対応ができるように、マニュアルを作成し、共通理解を図っております。	
48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	○		契約時に保護者様に関与取りを行い、全職員で情報を共有し、対応しております。	
49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を全職員が周知できるように全社で作成した研修や訓練を行い、万が一の際には安全計画に沿って行動ができるように努めてまいります。	
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時や昨今、災害が増えているため、定期的に保護者様へ安全確保についてお話しするよう心がけております。また、事業所内に各種マニュアルや対策を掲示しております。	
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット報告書を作成し、全職員で共有を行い、再発防止に向けての安全対策を検討している。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置し、虐待防止についての研修、身体拘束適正化についての研修を受けている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		利用契約書には身体拘束の禁止が記載されており、生命又は身体を保護するためにやむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ文書により保護者様の同意を得ることとしております。	

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援 キッズ木馬 清水校

公表日 年 月 日

利用児童数 4名

回収数 4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	2	0	0	個別で過ごせる部屋があればと感じる	
2	職員配置数は適切だと思いますか。	4	0	0	0	適切だと感じる	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	1	0	1	入り口付近に段差が多いように感じる 季節にあった装飾があり、過ごしやすい環境だと感じる	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4	0	0	0	現状の課題に沿った計画や支援を行ってくれている	
5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3	1	0	0	なされている	
6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2	1	0	1	なされている	
7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3	1	0	0	定期的な面談をしてくれ、課題におおむね沿った計画である	
8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3	1	0	0	適切な目標と支援内容であると感じる	
9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3	1	0	0	毎月新しい活動がなされている	
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3	0	0	1	定期的に行っている	
11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域でのこどもと活動する機会がありますか。	4	0	0	0	なされている	
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	0	0	0	なされている	
13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	0	0	0		
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	0	2	0	2		
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	3	1	0	0	送迎時に一日の様子や今後のことを職員さんが話してくれます	
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	0	0	0	いつも悩みを共有出来ていると感じる	
17	事業所の職員から共感的に支援されていると思いますか。	2	1	0	1	家族参加の行事があり、そこで家族同士話す機会があった	
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が取られるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が取られるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	0	1		
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているととちに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知、説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	1	0	1	適切に対応されている	

20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3	1	0	0	情報伝達のための配慮をいつしていたい	
21	定期的に通信やホームページ、SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	0	0	0	毎月の活動の写真や内容をSNSや手紙等で発信している	
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	0	0	0	特に問題ないです	
23	事業所では、事故防止でマニュアル、緊急時対応でマニュアル、防犯でマニュアル、感染症対応でマニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	1	0	1	マニュアル等は見たことないが、訓練を行っていることは周知されている	
24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	0	0	1	避難訓練は行っている様子ではある	
25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支障が行われていると思いますか。	3	1	0	0	なされている	
26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2	1	0	1	即時に対応しています	
27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2	1	0	1	安心できる場だと感じる	
28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3	0	0	1	楽しみに通所しています	
29	事業所の支障に満足していますか。	3	0	0	1	困ったときは即時に対応してくれ満足しています	

満足度

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス キッズ木馬 清水校			
○保護者評価実施期間	令和6年 3月 1日		～	令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数)	15名
○従業者評価実施期間	令和6年 3月 1日		～	令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 28日			

○ 分析結果

事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
集団活動とは別に個別の療育を取り入れている。	個々に合わせた療育に取り組むことで目的を持って取り組むことができるよう配慮し、楽しく参加できるようにしている。	児童がもっと楽しく、積極的に参加できるように児童の考えをくみ取りながら活動を行っていく。
1 個室の部屋や広い部屋もあり、年齢別の活動や、グループ活動等、様々な用途に使用できる。	年齢・活動内容に合わせて、個室を活用することで、児童が落ち着いた空間で活動に参加することが出来るように配慮している。	同年代や特定児童の関わりだけでなく、色々な児童同士が関わりを持って成長できるような支援・活動を提供していく。
2 色々な場所へ外出をして、外出時のルールや決まりを学んだり、外出先で沢山の体験をしたり、経験を積むことが出来るようにしている。	事前に、児童が興味を持てそうな活動や、苦手な事にも楽しく挑戦ができるように計画をしている。	他事業所との交流も行い、様々な活動を提供していく。
3		

事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1 視覚的支援が必要な児童に対しての支援が不十分。	視覚支援を行う教材や、職員が活用方法を理解できていなかった。	外部や内部研修に積極的に参加し、職員のスキルを向上させていく。
2 課題に取り組むための教材の量。	事業所内にあるもので対応していた。新しいものを取り入れようと考える気付けなかった。	職員自身が、常に新しい情報を吸収し活用できるようにしていく。
3		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				年 月 日	
放課後等デイサービス キッズ木馬 清水校							
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用定員 10名 事業所使用面積 93㎡			
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童指導員加算を減らす 1日6～7名配置			
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	玄関外に段差あり、フロア内はバリアフリー。構造化された環境になっている。	トイレに慣いすは入れない。(対象利用者なし)		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		開所前と開所後に毎日清掃をしている。 子どもの体格に合わせた椅子や机のサイズを複数準備している。			
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		個室はないが、事務所内にトイレを置いており、必要に応じて過ごすことができる。		
6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日のミーティングと支援メモ、記録を活用し、振り返りと支援目標の設定を行っている。			
7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年一回、アンケートを実施している。			
8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日のミーティングや毎月の全体ミーティング等時に意見を申し出たり、必要に応じてその都度対応している。			
9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	社内研修会を行うとともに、社外の研修等にも積極的に参画している。	実施できていない。今後、検討していく。		
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○					
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		なされている。			
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		契約時1回、その後半年ごとに年2回のアセスメントを行い、それに基づいた計画がなされている。			
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		インフォ-リアルアセスメントをミーティング等で意見を申し合い共有し、その結果を計画に反映している。			
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		立てられた計画は必ず職員間で共有し、計画に沿った支援を行っている。			
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		ミーティング等を通して、子どもの状況をフォーマルアセスメント、インフォ-リアルアセスメントを使用し確認している。			
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに沿った計画を立案し、具体的な支援内容が設定されている。			
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		チームで行っている。			
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		固定化防止の工夫を行うと共に、季節や天候、感染対策に合わせたアレンジを含め、楽しく取り組めるようにしている。			

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		子ども達一人一人の状況や体調を考慮しながら、ニーズに合わせた内容で支援を行っている。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		日々の打ち合わせを行い、事前連絡、支援上の注意、引継ぎ事項、職員の支援の動き等を確認してから支援を行っている。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	遠距離への送迎を含め送り対象児が多く、終了後の合流に全員参加は難しいが、支援メモや職員間連絡にて報告、確認を行っている。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の記録や連絡帳などの活用で子どもの変化や様子等気付いた事をそれぞれが記入している。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリング、半年に1回は必ず計画の見直しを行っている。	
24	放課後等デイサービスカイロラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		創作活動と自立支援など、組み合わせて支援を行っている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自己決定・選択ができるように、子どもの判断能力を尊重し、情報提供をしたり、解決策を一緒に考えていたりしている。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者または管理者が出席し、必要に応じて保育士、児童指導員、理学療法士等も参画している。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて情報共有、相互理解を図り、よりよい支援につなげられるように努めております。	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		基本的に学校へは連絡することの多いように、保護者を通して学校予定を把握し、事業所からは学校への迎え時間が確認できる用紙を提出している。	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	児童発達支援事業所を利用していた子どもは引継ぎ内容を画面で共有している。就学後から利用する児童に関しては就学前の施設とは連絡していない。	
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	-	-	該当なし。	
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		必要に応じて児童発達支援管理責任者、または管理者が連携を図り、研修に積極的に参加している。	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	一人一人にとって交流目的が違いため、今後交流する予定なし。	
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	現状参加はできていないが、今後は積極的に参加していく。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時、連絡帳、電話、SNS、郵送などを使い分けて情報のやりとりや確認、今後の目標等について報告をしたり情報を共有したりしている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	現在は行っていないが、今後は取り入れていきたい。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に重要事項説明書を用いて説明している。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別支援計画の作成前にモニタリングを実施し、定期的な保護者様との面談により、利用児童の状況や課題を確認し支援計画に反映している。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		放課後等デイサービス計画の同意をいただく際には、丁寧かつわかりやすい言葉で説明するよう、心がけている。	
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		連絡帳でのやりとりや、電話、送迎時、面談を行い、子育てのお悩みやご質問・ご相談に適切な回答・助言などの支援に努めている。	

関係機関や保護者との連携

40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	個人情報の関係もあり、保護者様の集まる機会が実現できていませんが、ご意向を踏ま一つ、必要に応じて今後検討してまいります。	児童の現状や保護者様のご意見等を踏まえて、交流会等の機会を検討してまいります。
41	ごどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、ごどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	日々の利用に関するご意見やご相談については、迅速に対応できるように配慮しております。苦情への相談窓口も設けており、契約時に説明しております。	
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をごどもや保護者に対して発信しているか。	○	毎月の利用予定表にて活動の概要や行事予定を掲載しております。また、SNSなどで活動の様子を発信しています。	
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人情報の取り扱いには慎重に行い、書類は施錠の出来る場所に保管しております。また、児童の写真掲載等は、保護者様の同意を踏ま一つで掲載しております。	
44	障害のあるごどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	一人ひとりの特性に応じて、口頭だけでなく、絵カードや書面を提示するなど手段を活用して、情報伝達に配慮しております。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	現時点では、地域の方をご招待するなどの交流は積極的にな進するまでに至っておりません。	個人情報の観点から、保護者様のご意向に沿って慎重かつ十分な配慮の上、検討してまいります。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	各種マニュアルを策定するとともに事業所内に掲示し、定期的な訓練も実施しております。	
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	業務継続計画を策定し、定期的に地震や火災・風水害を想定した訓練を実施しております。	
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のごどもの状況を確認しているか。	○	契約時に必ず確認を行い、緊急時には、全職員が適切に対応できるように、マニュアルを作成し、共通理解を図っております。	
49	食物アレルギーのあるごどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	契約時に保護者様に関き取りを行い、全職員で情報を共有し、対応しております。	
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画を全職員が周知できるように含めが作成した研修や訓練を行い、万が一の際には安全計画に沿って行動ができるように努めてまいります。	
51	ごどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	契約時や昨今、災害が増えているため、定期的に保護者様に安全確保についてお話しするよう心がけております。また、事業所内に各種マニュアルや対策を掲示しております。	
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	ヒヤリハット報告書を作成し、全職員で共有を行い、再発防止に向けた安全対策を検討している。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	虐待防止委員会を設置し、虐待防止についての研修、身体拘束適正化についての研修を受けている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、ごどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	利用契約書には身体拘束の禁止が記載されており、生命又は身体を保護するためにやむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ文書により保護者様の同意を得ることとしております。	

非常時の対応

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等サービスズ キッズ木馬 清水校
------	---------------------

公表日 年月日

利用児童数 15名

回収数 15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	2	0	0	個別で過ごせる部屋があればと感じる	
2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	0	0	0	適切だと感じる	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	2	0	1	入口付近に段差が多いように感じる 季節にあった装飾があり、過ごしやすい 環境だと感じる	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	0	0	0	現状の課題に沿った計画や支援を行って くれている	
5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	2	0	0	なされている	
6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	2	0	3	なされている	
7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題を個別に分析された上で、放課後等サービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	3	0	0	定期的な面談をしてくれ、課題におおむ ね沿った計画である	
8	放課後等サービス計画には、放課後等サービスガイドラインの「放課後等サービスへの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1	0	0	適切な目標と支援内容であると感じる	
9	放課後等サービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	2	0	0	毎月新しい活動がなされている	
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	0	0	1	定期的に行っている	
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	2	0	3	なされている	
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	0	なされている	
13	「放課後等サービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	0		
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	0	10	0	4	送迎時に一日の様子や今後のごことを職員 さんが話してくれます。	
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	13	2	0	0	なされている	
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	0	0	0	いつも悩みを共有できていると感じる	
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	1	0	2		
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が取られるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が取られるなど、きょうだいの支援がされていますか。	10	1	0	4	家族参加の行事があり、そこで家族同士 話す機会があった	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整っているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	2	0	2	適切に対応される	

保護者への説明等

非常時等の対応	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1	0	0	0	情報伝達のための配慮をいつちいた だいている	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	0	0	0	0	毎月の活動の写真や内容をSNSや手紙等で拝見している	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	0	0	特に問題ないです	
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	6	0	0	1	マニュアル等は見たことがないが、訓練を行っていることは周知されている	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	0	0	0	3	避難訓練は行っている様子ではある なされている	
満足度	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	2	0	0	0	即時に対応しています	
	26	事故等（怪我等を含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1	0	0	2	安心できる場だと感じる	
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	1	0	0	1	楽しみに通所しています	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	0	0	0	1	困ったときは即時に対応してくれ満足しています	
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	0	0	0	2		